

只見町民の生活のため
株式会社タダミから町へ寄附



▲目録を手渡しする高久代表取締役（中央）

ブイチェーン只見店を運営する株式会社タダミが、只見町に金100万円を寄附されました。

高久公一代表取締役は、5月30日に只見町役場を訪れ、増田総務企画課長に目録を手渡し、「只見町民の生活環境の安定のために活用してほしい」と伝えられました。

いただいた寄附は有効に活用いたします。ありがとうございました。

○株式会社タダミ：三瓶政夫さんから令和5年に経営を引き継ぎ、ブイチェーン只見店を運営しています。

八十里越街道の開通を見据えて
「越後・南会津街道 観光・地域づくり懇談会」開催



▲テーマ毎に意見交換を行うグループワークの参加者

国道289号八十里の開通を見据え、工事の進捗状況や広域観光連携施策の共有を目的とした「第5回越後・南会津街道 観光・地域づくり懇談会」が季の郷湯ら里で開催され、只見町の関係者が情報交換を行いました。

また、懇談会後の観光セミナーでは、国土交通省の観光庁観光カリスマの山田桂一郎氏を講師に、地域の魅力の高め方や、商品開発についての講演が行われました。その後、地域の民間事業者の方を主役にグループワークを行い、地域間交流の大切さを改めて確認しました。

身を守るために
防災セミナー開催



▲野崎氏は、ハザードマップで避難経路、避難場所を確認しておくことの大切さも伝えました。

いつ起きるか分からない地震や、出水期の集中豪雨による水害などの災害から身を守る方法を学ぶ防災セミナーが6月3日に朝日公民館で開催されました。

セミナーは、日本赤十字社福島県支部事業推進係長の野崎謙司氏が講師を務め、「災害への備え 大丈夫ですか」と題し、講演しました。

野崎氏は、「台風や大雨は、今ではテレビやラジオなどから事前に情報が得られます。避難が出来ない状況になる前に早めに避難をすることが命を守るために重要です」と話しました。

虫歯のない子

6月4日 3歳児検診



わたなべ とうき 寿終くん(山川)



よこやま たいせい 大晟くん(大倉)



さんへ みのりさん(大倉)